

令和7年産 ケラジ・カーブチー栽培暦

令和7年1月作成

月	旬	生育相	主要管理	防除方法		栽培管理上の注意
				対象病虫害	防除薬剤・希釈倍数	
1	上 中 下	発芽期	施肥（春肥）	ミカンハダニ	スプレーオイル（マシン油97%） 200倍	<ul style="list-style-type: none"> ○かいよう病多発園では被害枝葉を除去する。 ○弱樹勢園は、落葉を助長するため、スプレーオイルの散布を控える。 ○スプレーオイルとICボルドー66Dの散布間隔は、14日以上空ける。 ○黒点病対策のため、枯れ枝の除去を徹底して園外へ持ち出し処分するとともに、園内の通風・排水を確保する。 ○カンキツグリーンング病対策は、欄外「ミカンキジラミの防除」を参照する。 ○防風垣でイヌマキを利用している園はキオビエダシヤクが発生するため、トレボン乳剤4,000倍を幼虫発生初期に散布する。 ○新梢の発生・伸長期には、ミカンハモグリガやアブラムシ類が発生し、新葉を害する。加害痕からのかいよう病発生を防ぐため、下欄の薬剤一覧から選択してローテーションで散布する。 ○昨年サビダニ類が多発した園は、コテツフロアブル（4,000倍）を散布する。 ○赤衣病発生時は被害枝を早急に除去しゆ合促進にバッチレート塗布する。 ○赤衣病対策も含め、ゴマダラカミキリ成虫を速やかに捕殺し、下草管理も徹底する。 ○スプレーオイルの散布は梅雨明けまでとし、葉害の恐れがあるため高温時の散布は避ける。 ○ゴマダラカミキリによる木くず発見時は、食入痕から針金を用いた刺殺または園芸用キンチョールEを注入する。 ○台風通過後は、6時間（遅くとも10時間）以内に散水（1.5t/10a）し、潮風害対策を行う。 ○ハダニ・サビダニ類は発生初期の防除に努め、同一薬剤の使用は年1回を原則とする。サビダニ類は下欄から使用回数制限に注意して選択する。 ○カメムシ類は、園地への飛来を早めに発見し、初期防除に努める。
2	中 下			【発芽直前】 かいよう病 【発芽期】 そうか病	ICボルドー66D 50倍	
3	上 中 下			デランフロアブル 1,000倍		
4	上 中 下	開花期 落弁期	枯枝除去 （4月～9月）	【開花期】 かいよう病 【梅雨前】 かいよう病 黒点病	【コサイド3000 加用クレフノン】 2,000倍 200倍	
5	上 中 下	果実親指時期 果実ピンポン玉大期	施肥（夏肥） 粗摘果	ゴマダラカミキリ カイガラムシ類幼虫	バイオリサ・カミキリ アブロード水和剤 1,000倍	
6	上 中 下			【ケラジ推奨】 かいよう病	【コサイド3000 加用クレフノン】 2,000倍 200倍	
7	上 中 下			ゴマダラカミキリ カイガラムシ類	トランスフォームフロアブル 2,000倍	
8	上 中 下	果実肥大期	台風対策 摘果	【台風前】 かいよう病	【コサイド3000 加用クレフノン】 2,000倍 200倍	
9	上 中 下			モスピラン顆粒水溶剤 （主幹・株元散布） 400倍		
10	上 中 下			コナカイガラムシ類	アクタラ顆粒水溶剤 2,000倍	
11	上 中 下	収穫 ↓	施肥（礼肥） 整枝・せん定 防風垣整備 土壌改良資材施用	サビダニ類 ミカンハダニ	ダニエモンフロアブル 4,000倍	
12	上 中 下			カメムシ類	テルスター水和剤 2,000倍	
				カメムシ類	スタークル顆粒水溶剤 2,000倍	
				カイガラムシ類 ミカンハダニ	スプレーオイル（マシン油97%） 50倍	

在来かんきつの特徴を生かして喜界島独自の果樹産地づくりに努めよう！

基幹防除…発生を抑えるため、できるだけ防除に努めましょう。
補完防除…発生状況をみながら、必要に応じて防除しましょう。

令和6年11月28日現在の登録内容を記載

<農薬の希釈早見表> (薬量はgまたはml)

水量	倍率	50倍	200倍	300倍	500倍	1,000倍	2,000倍	4,000倍	5,000倍
500L		10,000	2,500	1,667	1,000	500	250	125	100
300L		6,000	1,500	1,000	600	300	150	75	60

<施肥基準> ()内はシークワサー台

時期 種類	2月下旬～ 3月上旬		6月上旬～ 中旬		12月上旬	
	奄美果樹配合 (8-8-5)		または		蜜のめぐみ2号 (8-3-3)	
単収	1,000kg	60 (50) kg	40 (30) kg	60 (50) kg	1,500kg	80 (65) kg
		80 (65) kg	40 (30) kg	80 (65) kg		

<農薬散布時の留意点>

- 風向きや風速に注意し、対象作物以外への飛散防止に努める。
(飛散の恐れがある近隣栽培者には連絡をとって実施する)
- 規定の範囲内で樹冠に対して十分量の薬液散布を心がける。
(特に、殺虫剤・殺ダニ剤は散布ムラがないように丁寧に)

<ミカンハモグリガの防除薬剤>

薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数	備考
アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫14日前	3回	材コフノイ (7'ラムシO)
モスピラン顆粒水溶剤	2,000倍			
ダントツ水溶剤	2,000倍			
エクシレルSE	5,000倍	収穫前日	2回	ジ'アト IGR スビ'フシ
フェニックス顆粒水和剤	4,000倍			
カスケード乳剤	2,000倍			
スピノエースフロアブル	4,000倍	収穫7日前		

<ミカンキジラミの防除薬剤> カンキツグリーンング病対策

薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数	備考
アドマイヤー顆粒水和剤	5,000倍	収穫14日前	3回	材コフノイ

★園地周辺のゲッキツは伐採する。
★発生疑われる樹があった場合は、関係機関に連絡する。

<サビダニ類の防除薬剤>

薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数	備考
コテツフロアブル	4,000倍	収穫前日	2回	リュウキュウミカサ'ダニ可
ダニエモンフロアブル	4,000倍	収穫7日前	1回	ハ'ニと同時防除可
カネマイトフロアブル	1,000倍			

県園芸振興協議会大島支部

連絡先

大島支庁農林水産部農政普及課：0997-57-7274
同 喜界町駐在：0997-65-3019